



みんなで **フッシュョイ** まちづくり



おうめ  **協働ナビ**



青梅市協働実践マニュアル（市民・行政編）



おうめの協働

その1

自治会活動～いざという時のための防災訓練～

自治会の各種活動も、様々な主体が関わり、協働で行われています。特に災害時に重要とされる、「自助・公助・共助」は、協働の考え方がベースになっています。

いざというときに助け合うためには、普段から一緒に活動することが大事なんです♪



「ありがとう、青梅市民会館！」イベント

長きに渡り、青梅市の文化・教育の拠点として親しまれてきた「青梅市民会館」のお別れイベント！このイベントは、市民実行委員会と文化課・社会教育課が手を取り合い、850人を超える出演者と80人ものボランティアスタッフの手によってつくられました。市民会館に対するそれぞれの想いが、協働というキーワードで繋がるイベントとなりました。

共通の目的を共有しながら協働することで、何倍ものパワーが生まれました♪



市民ボランティア・企業も参加！青梅マラソン

歴史ある「青梅マラソン」は、青梅最大のスポーツの祭典です。市民ボランティアや市内企業の皆さんに支えられ毎年盛大に行われます。

市民ボランティア・企業・行政が一体となって盛り上げているイベントです！



市内で行われているあんな事業こんな事業…
実は協働で行われています！

青梅市文化交流センターオープニングイベント実行委員会



青梅市文化交流センターの開館にあたり、当施設が目指す市民協働による文化交流拠点としての役割を示すとともに、すべての青梅市民が豊かな心を育む共生社会と、地域の文化資源を活用した芸術環境づくりを推進する施設にふさわしいオープニングイベントを企画する市民で組織する実行委員会です。

(オープニングイベント イメージ図)



おうめの協働 その2 はP 12へ！

目次



	ページ
 おうめの協働 その1	1
 まずは市内の協働でおこなわれているイベントを紹介します	
 第1章 協働を理解しよう	5
 協働の基本的なこと！	
1-1 協働って何？	5
・市民活動とは	6
・市民活動団体等って？	6
1-2 協働の形態	7
ワンポイント 協働の範囲	8
1-3 なぜ協働が必要なの？	9
1-4 協働してどんなメリット・効果があるの？	10
1-5 協働を進めていくために大切なポイント！！	11
ワンポイント こんなことにならないように…	11
<u>いろいろ、あります おうめの協働 その2</u>	12
 第2章 協働事業の進め方	13
市民から提案する場合	15
 事業を市民から提案するときはここから読んでください！	
①やりたいことを相談・提案してみよう	15
②担当課と話し合おう	16

行政から提案する場合 17

事業を行政から提案する場合はここから読んでください！

①やりたいことを企画・提案する 17

②協働相手を探す（公募など） 18

市民と行政共通（協働を実施する） 19

さあ、いよいよ事業の実施！ここからは市民と行政共通です

③じっくり計画を練ろう 19

④協力して事業を実施しよう 20

⑤事業を振り返ろう（評価・反省） 21

ワンポイント こんな制度も！ 21

まだまだ、あります おうめの協働 その3 22

市民と行政をつなぎます 青梅ボランティア・市民活動センター 23

第3章 資料 25

3-1 提案シート 25

3-2 評価シート 28

3-3 協働事業集 29

3-4 青梅市協働事業市民推進委員会 30

第1章 協働を理解

1-1 協働って何？

市民生活の向上を目指し、

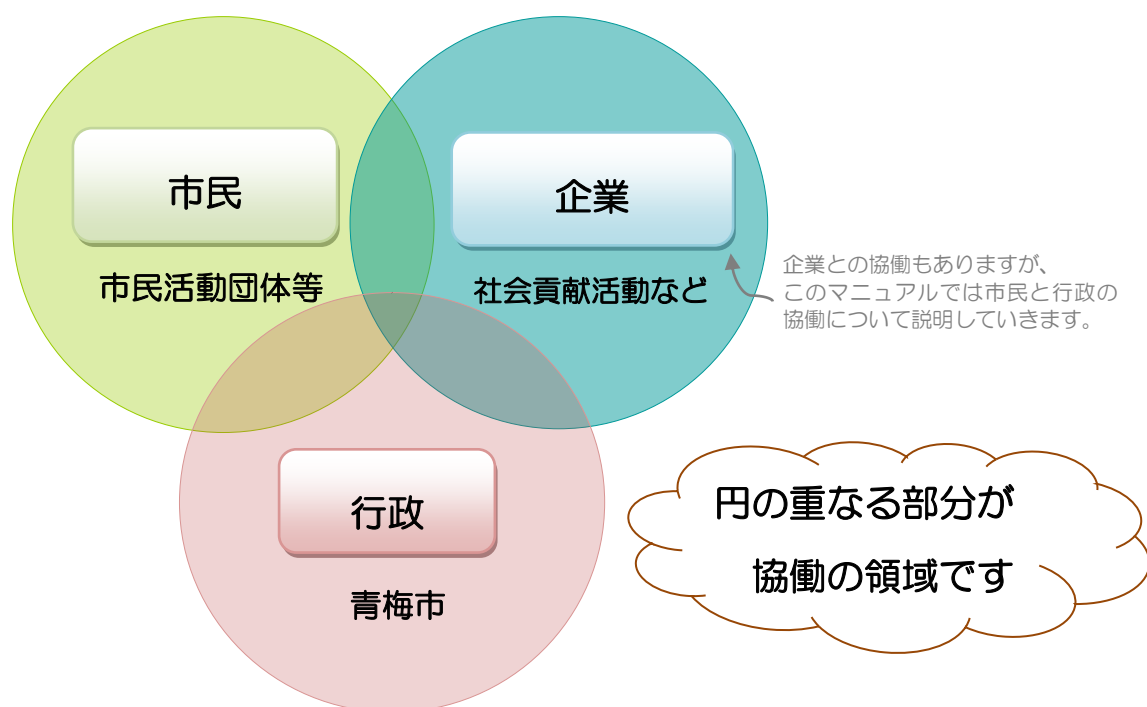
市民・行政・企業等 立場の違うものどうしが

主体性、自発性のもとに

- お互いの立場を理解・尊重しあいながら
- 対等な立場で
- それぞれの特性を活かし
- それぞれの役割分担を明確にし
- 協調・協力しながら

共に取り組む活動です！

協働のイメージ図



しょう

市民活動とは？

市民活動とは、市民が自ら価値観、信念、関心にもとづき、地域社会への貢献を目的に、自発的な意志によって、よりよい社会づくりのために行う非営利で公益的な活動をいいます。

一般的には、以下の項目を満たすものをいいます。

- ① 自主性・自発性にもとづく行動であること。
- ② 営利を目的としない活動であること。
- ③ 不特定かつ多数者の利益の増進に寄与する活動であること。
- ④ 市民に対し内容が開かれた活動であること。

市民活動団体等って？

社会貢献活動を行う営利を目的としない市民に開かれた団体等で、次に掲げるものです。ただし、宗教活動や政治活動を主たる目的とする団体および特定の個人や団体の利益を目的とするものは含みません。

特定非営利活動法人（NPO）

『青梅ボランティア・市民活動センター』に登録している団体

青梅ボランティア・市民活動センターの詳細はP23へ

青梅市内の自治会などの
地縁団体

（地方自治法第260条の2第1項に規定される団体）

その他、自発的、主体的、
継続的に社会貢献活動を行う
団体および個人

第1章 協働を理解しよう

1-2 協働の形態

協働の形態には、

- ①政策立案・事業企画等 ②事業共催 ③事業協力
④事業委託 ⑤その他（補助・助成、後援） があります。

① 政策立案・事業企画等に参加

各種審議会・委員会で市民活動団体等から政策の立案・事業企画の提案や意見を出してもらったり、審議会等の委員として参加してもらうこと。

パプコメ

パブリックコメント（政策を定めるときに、広く市民から意見を求めること）も

①政策立案・事業企画等 の協働です。

② 事業共催

共に主催者としての責任を持ち、市と市民活動団体等が共同で事業を実施すること。

③ 事業協力

共催や委員会・協議会以外の形態で、一定期間継続的に協力して事業を実施すること。

④ 事業委託

市民活動団体の特性を生かせる事業について、市と市民活動団体等との間で特定の契約を締結し、委託して事業を実施すること。

⑤ その他

補助・助成…事業への財政支援
後援…事業に対する賛同・応援

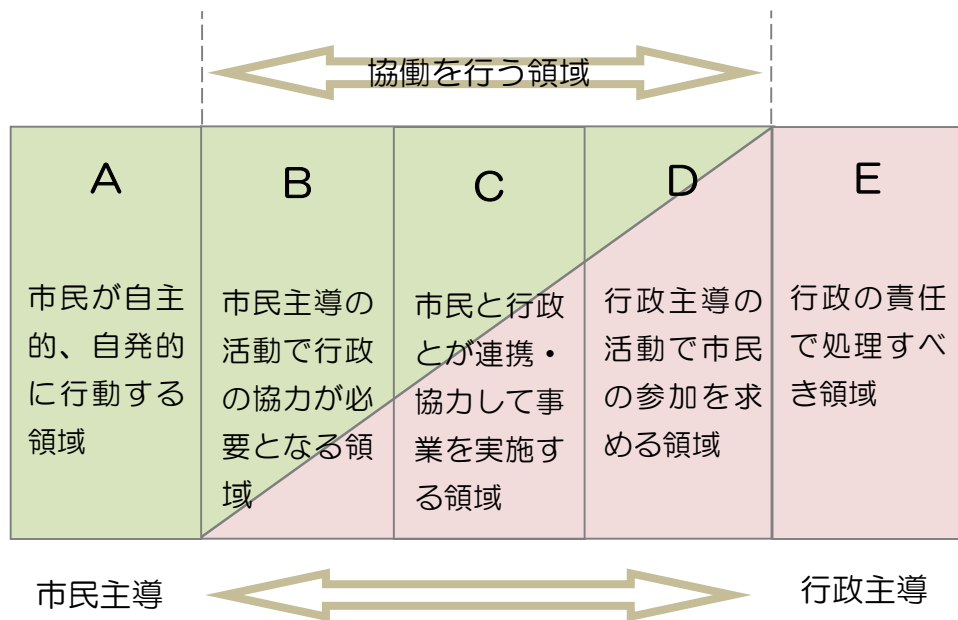
どの形態であっても企画段階からお互いに話し合い、
目的を共有していることが大切です。



市民活動団体等と行政の協働範囲

ひとりで「協働」といっても、その協力の度合いは下図のようにさまざまです。

B～Dのどの範囲の協働なのか、あらかじめイメージをすり合わせると後のトラブル回避にもつながります。

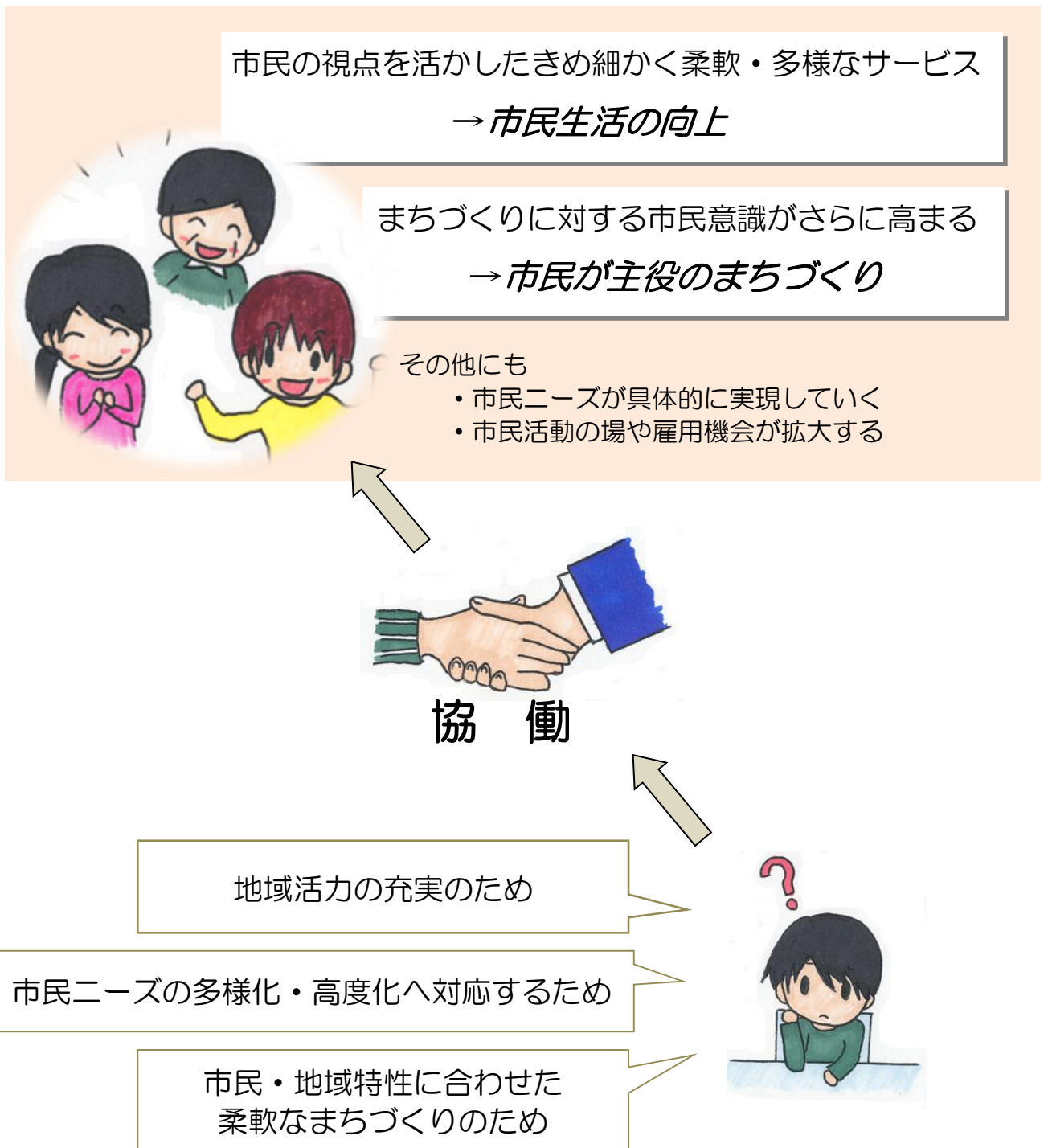


は、それぞれがかかわる度合を表しています。

協働の領域は表の B～D ですが、AとEについても、今後協働する可能性があります！

1-3 なぜ協働が必要なの？

より住みやすいまちづくりを行うために、市民だけでも行政だけでも解決できない課題が増え、また、まちづくりに対する市民の意識も高まっています。そのため、お互いの不足を補い合い、協働して課題解決に向け、取り組むことが必要です。



1-4 協働してどんなメリット・効果があるの？

① 市民活動団体等にとってのメリット

- 新しい公共サービスの担い手になる
- 団体の使命を効果的に実現できる
- 団体としての信頼を得られる



活動者にはこんな効果が期待できる！

- 楽しい
- いざという時に助けてくれる
- 一人でできないことができる
- 社会貢献ができる
- 仲間ができる
- 居場所ができる
- スキルアップできる
- 社会と接点を持てる
- 新しい発見がある
- 喜んでもらえる
- 生きがいとなる
- 情報が得られる

② 行政にとってのメリット



- 多様なニーズに対応できる
- 市民の力を活かすことができる
- 市の体質改善や職員の意識改革になる
- 事業の見直しや行政運営上の効率が良いとなり、経費削減につながる

協働はそれぞれのメリットだけを追求するものではありません。
協働することでみんなが幸せになっていくことを忘れないようにしましょう。



1-5 協働を進めていくために大切なポイント！！

- ・ 対等なパートナーとして認め合いましょう！
- ・ お互いの立場の違いを理解しましょう！
- ・ お互いの自主性を尊重しましょう！
- ・ お互いの役割分担を明確にしましょう！
- ・ 企画段階からお互いに話し合い、目的を共有しましょう！
- ・ 情報はすべて公開しましょう！
- ・ 一定期間ごとに事業内容を見直しましょう！

こんなことにならないように…



相手に押しつける、いやいやひきうける



馴れ合っている



利益を追求する

いろいろ、あります

おうめの協働 その2

お〜ちゃんフェスタ



ボランティア・市民活動団体、福祉団体、施設、企業、市民が一体感を共有できるイベントです。地域や世代を超えた交流や発表の場をつくり、より一層コミュニティの活性化を図る。という目的で実施します。

武州青梅三田弾正手作り甲冑隊

青梅市の市名の由来である平将門の子孫と称する三田弾正を活かした地域おこしに向け、また観梅市民まつりに参加するための手作り甲冑教室を開催するとともに、郷土の歴史と文化を学び合うことを通じて郷土を愛する心を育てる。という目的で行いました。



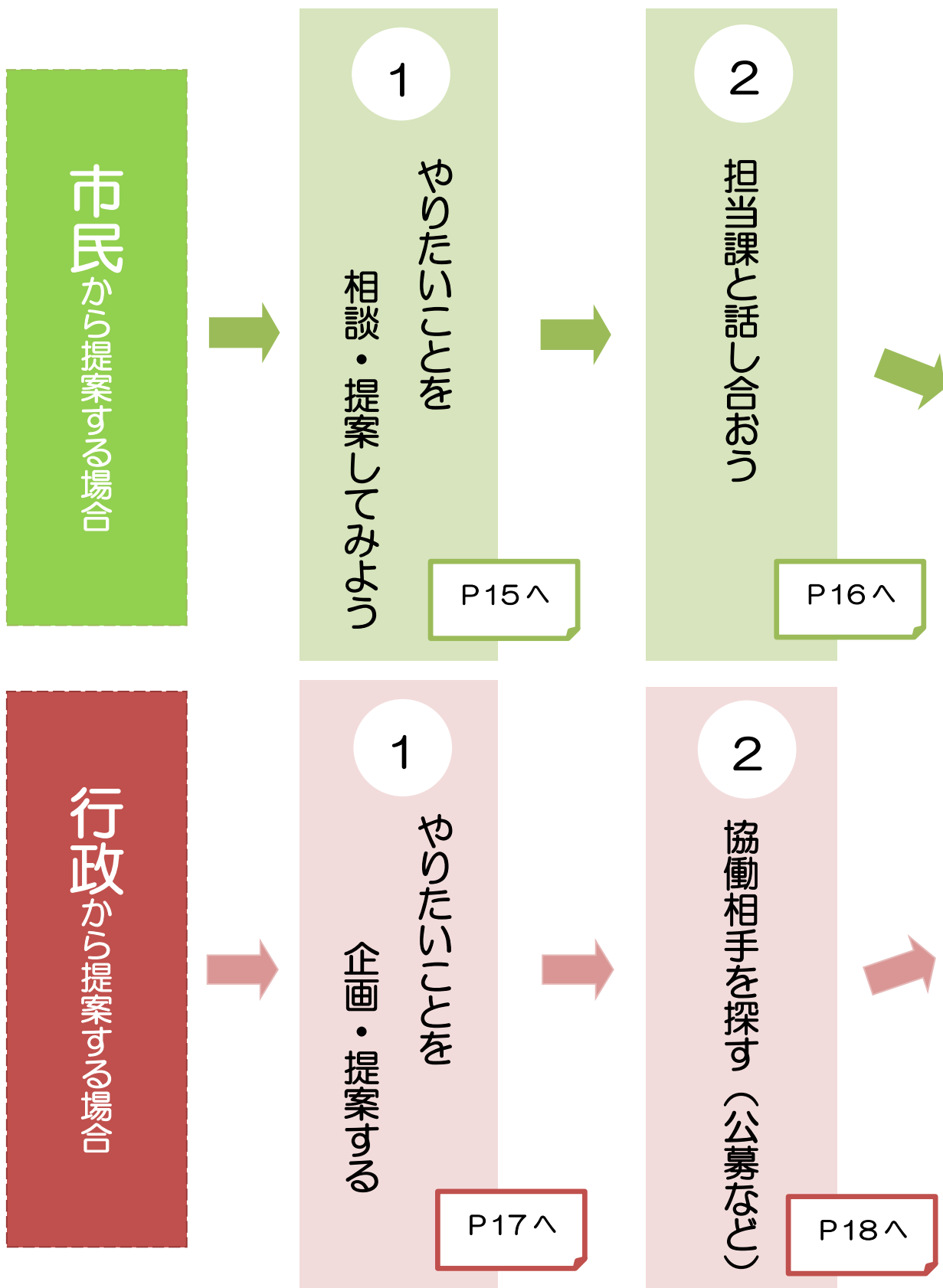
各地区の文化祭



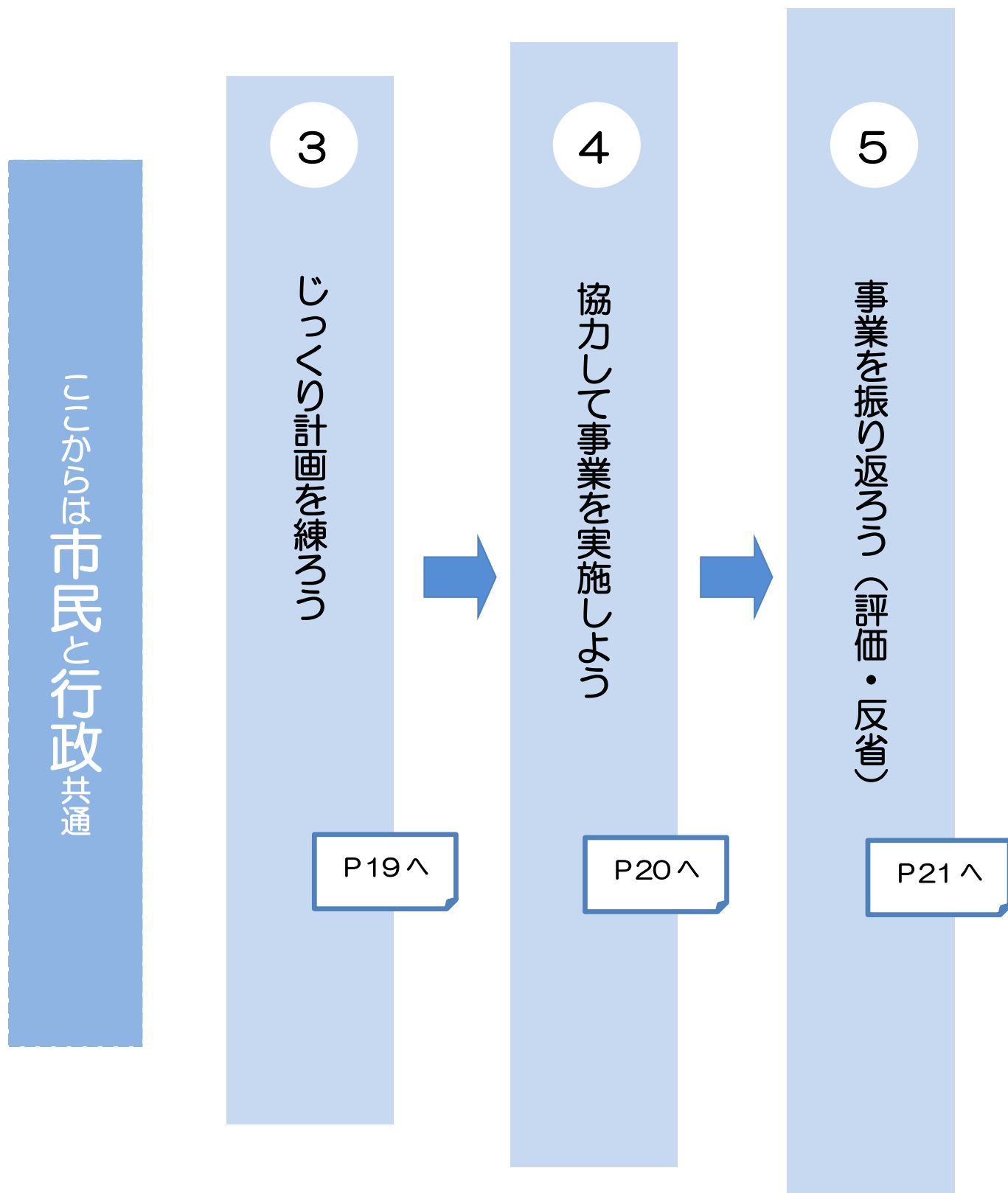
地域の伝統や特性を生かし、生涯にわたる地域住民の多様な学習機会の成果を展示することで、地域の交流を促進し地域社会における主体的活動の活性化を図る。という目的で行っています。

➡ おうめの協働 その3 はP22へ!

第2章 協働事業の



進め方





市民から提案する場合

協働で事業をしてみたいと思ったら…

1 やりたいことを相談・提案してみよう

①相談する前に⇒何のために、何をどうやって、誰のために行うのか、
協働事業として適しているか考えを整理しよう



②考えを整理したら⇒ボランティアセンターへ相談して提案シートを作成しよう

市民用・
協働事業提案シート

P 25 へ



③提案シートを市民活動推進課へ持って行こう



④市民活動推進課で担当課を紹介してもらおう



次ページへ！

2 担当課と話し合おう

①提案シートをもとに担当課と相談しよう



②協議の際には、以下の点に留意して、話し合いを進めよう

- 事業の目的を明確にする（理念、公益性、必要性、効果など）
- 市民と行政の役割分担の明確化（実施会場、必要備品、予算など）
- 行政の特性を理解する

行政の特性として…

- 単年度会計なので、年度を越えた事業は難しいです
- 次年度の予算に計上していく必要がある場合は、実施時期等の調整が必要です
- ほかの課との内部調整が必要なこともあり、決裁に時間がかかることがあります
- 法令、条例に基づいて事業を行います

③協働事業として成り立つように、お互いの考えをすり合わせよう

④協働事業として実施決定

協働事業としてすぐに実施することができなかった場合は、今後の実施可能性について話し合っていきます。



3. じっくり計画を練ろう（P19）へ！

行政から提案する場合



1 やりたいことを企画・提案する

①事業の目的、内容、効果等を整理しよう



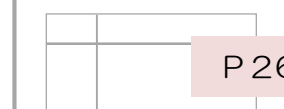
②協働事業に適しているかチェック！

- 新規事業の場合、市がその事業を実施する必要があるか
- 対象事業の分野で活動する市民活動団体があるか
- 市民活動団体の特性（迅速性・弾力性・専門性など）が活かせるか
- 協働のメリットとデメリットを比較し、メリットの方が大きいか
- 協働することで新たな効果が期待できるか



③行政用・提案シートを作成しよう ⇒決裁をもらおう

行政用・
協働事業提案シート



P26へ



次ページへ！

2 協働相手を探す（公募など）

①協働相手となる市民活動団体等はどれくらいあるの？

⇒ボランティアセンターに確認しよう！（他市の状況も確認してみよう）

ア．協働相手となる団体がある場合は、協力を呼びかけよう

イ．協働相手となる団体がたくさんある場合は、公募により、企画書等を提出してもらおう

市民用・
協働事業応募シート

P 27 へ

②企画書を審査しよう

提出された企画書を市民協働事業推進会議（協働の庁内会議）と協働事業市民推進委員会（協働の市民会議）が審査します

③候補団体と協議しよう

企画書が審査を通過した後、協働団体を決定する前に必ずその候補団体と事業目的、概要、予算、役割分担等について事前に協議しましょう。

④協働団体の決定

事前協議のうえ、話がまとまった場合はその団体が決定となり、事業実施に向けての詳細な計画を立てます。

次ページへ！

第2章 協働事業の進め方



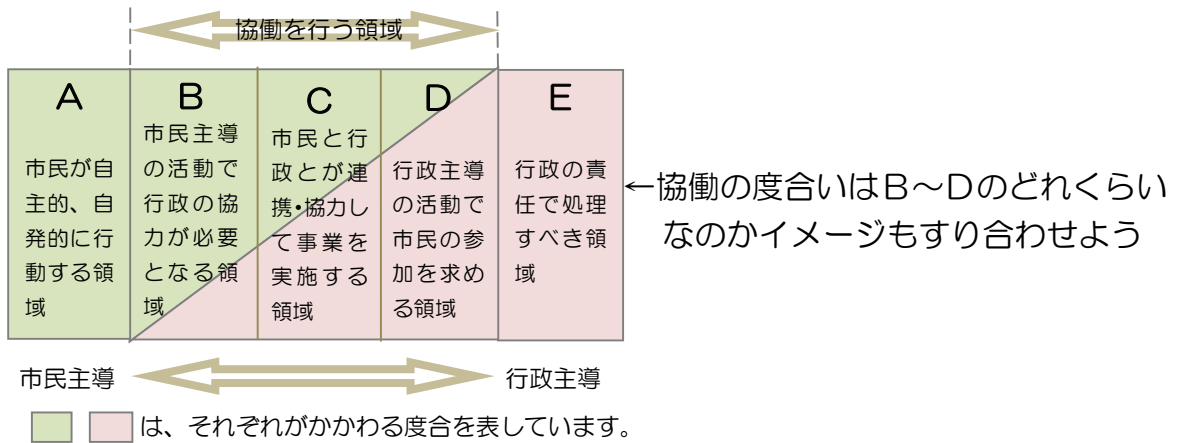
市民と行政共通



3 じっくり計画を練ろう

①事業実施に向けての詳細な計画を立てよう

- ・目的、目標、役割分担（責任）、スケジュール管理、予算（経費負担）、トラブル対応、リスク管理（保険の加入）、PR活動などについての協議および確認



②事業実施計画書を作成しよう

- ・事業内容
- ・業務分担表
- ・収支計画書
- ・スケジュール表
- ・組織など

③協定書を取り交わそう ⇒ 事業スタート



いよいよですね

次ページへ！

4 協力して事業を実施しよう

①事業を実施しよう！



②以下の点に留意して事業を進めよう

- 情報交換、情報の共有（市民と行政の緊密な連絡体制の構築）
事業の実施中に、お互いが気付いたことについて連絡を取り合い、情報の共有化につとめる。
- トラブル対応
トラブルが発生したら、お互いが粘り強く話し合いその解決策を見出す。
（市民活動推進課・ボランティアセンターを含む）
解決策が確認されたら、お互いの役割分担にもとづき対応する。
- 改善（事業途中でも変更を検討する）
計画を見直し、必要に応じて変更、修正する。



次ページへ！

5 事業を振り返ろう（評価・反省）

①評価の意義

- 評価結果を今後の事業へ活用する。
- 事業の透明性を確保し、市民への説明責任を果たす。



②何を、どのように評価するか

- 目標の達成、費用対効果、手法・役割・責任分担の妥当性など。
（参加者数などだけでなく総合的に評価するようにしよう）
- 評価シートにもとづき、市民側と行政側でそれぞれ評価し、市民活動推進課長へ提出する。
（評価後に市民側と行政側が集まって反省点を話し合おう。）

協働事業評価シート

P28へ

こんな制度も！

• 市民提案制度

市民から提案を公募し、事業費の一部を助成します。

書類審査を通過したものについてプレゼンをしてもらいます。市民提案協働事業審査委員会が審査を行い、その結果を総合的に判断し、市長が採択の可否を決定します。

- ①自由提案・・・市民活動団体が市と協働で実施したい事業について、自由な発想で提案するもの。
- ②行政テーマ提案・・・市が設定したテーマについて、事業を提案するもの。

• 協働推進委員

行政の各課に協働担当者を配置しています。

主な役割は、①所属課において、協働指針の普及啓発を行い、指針にもとづく協働事業の推進を図る。

- ②市民および所属課からの提案による協働事業の調整を図り積極的に推進する。

まだまだ、あります

おうめの協働 その3

学校教育ボランティア

市内小・中学校での行事や授業などで、青梅市教育ボランティアの方が教育活動の手伝いをしています。その中の一つである今井小学校「ふれあいボランティア」は、休み時間に子どもたちと昔遊びを行っています。この事業は「異世代交流・地域の人との交流」を目的にボランティアと小学校が行っています。



親子ふれあい綱引き大会

家族、地域、学校、職場…気の合う仲間
でチームを組んで綱引きを行います。
この事業は、青少年対策地区委員、体育
指導委員、青少年委員、子ども家庭支援
課が「青少年が地域活動に参加する機会
や場を提供する。地域社会全体で青少年
の健全育成を図る」という目的で行いま
した。

図書館おはなしボランティア

学校や図書館での絵本のおはなし会（読み
聞かせ）や、おはなし会に向けた学習会を
行っています。
この事業は「子ども読書の推進を図る」と
いう目的で、青梅市図書館ボランティアと
中央図書館が行っています。



市民と行政をつなぎます

青梅ボランティア・市民活動センター

協働したい！でも、どんな協働相手がいるの？
どうやって提案シートを書けばいいの？
そんなときは、青梅ボランティア・市民活動センターで相談してみよう！

ボランティアセンターってどんなところ？

→青梅ボランティア・市民活動センターは、様々な分野のボランティアや市民活動団体・NPOなど、非営利で公益的な活動をしている人たちや、これから活動しようと考えている人たちのための拠点です。主な活動は・・・

- ・市民活動団体および個人と行政の協働の推進
- ・市民活動に関する総合的な相談
- ・市民活動に関する情報の収集と発信
- ・市民活動団体および個人のネットワーク化

どんなことに利用できるの？

→センターの施設は以下のことに利用できます

1 作業する

フルカラー印刷機・コピー機・裁断機があり、印刷作業ができます。また、サロンにはパソコンがあり、資料作成などができます。

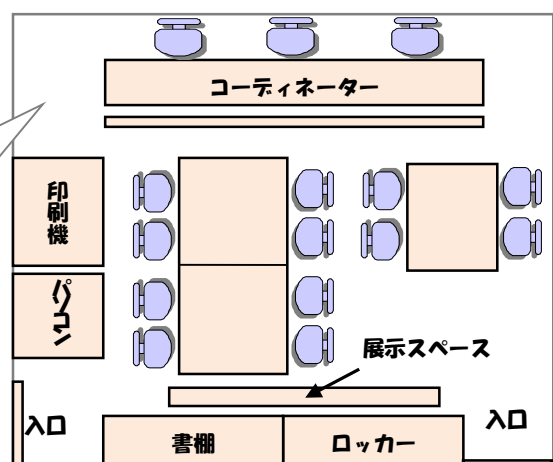
2 打合せ・活動に

講演会、勉強会、交流会などに使える、貸室等があります。ビデオなどの備品も貸し出しています。少人数なら、予約なしで使えるサロンもあります。

3 活動を知らせる

センターを活用して情報発信ができます。展示スペースを利用したり、チラシ・ポスター・パンフレットも掲示できます。また、ボランティア・市民活動団体に登録すると、ホームページで団体紹介や活動のPR、さらにイベントの情報を掲載できます。

ボランティアセンター内はこんな具合です→
みなさんには略して「ボラセン」と呼ばれています☆



どんな施設や備品を利用できるの？

→福祉センター等の施設を利用できます
福祉センターには右記の施設があり、予約して利用することができます。詳しくはお問い合わせください。

施設名	定員
福祉センター集会室①～⑤	各30
福祉センター集会室⑥	20
和室A・B	各15
ふれあいサロン	15
会議室	10

→以下の備品を貸し出しています

(福祉センター内のみ)

テレビ、ビデオデッキ、DVDプレイヤー、CDラジカセ、スクリーン、パソコン、プロジェクター、

(イベント用貸出し機材)

ポップコーン機、綿菓子機、かき氷機、テント、発電機、高齢者疑似体験セット(S・M・Lサイズ)、

→ロッカーの貸し出しもあります

所定の申込書に記入の上提出してください。申込み多数の場合は抽選となります。(サイズ)

大…36団体 幅27cm×高さ42cm×奥行35cm

小…24団体 幅29cm×高さ21cm×奥行36cm

お問合せ

青梅ボランティア・市民活動センター
(青梅市福祉センター2階
社会福祉協議会内)

〒198-0042
青梅市東青梅 1-177-3

TEL 0428-23-7163
FAX 0428-23-7165
E-メール vcome@omeshakyo.jp

開館時間 8:30～17:15

休館日 日曜日・祝祭日・年末年始

ホームページもご覧ください→ <http://www.omeshakyo.jp>



第3章 資料

3-1 提案シート

※これらは様式ではありませんので、提案するときの参考にしてください。

- ・市民から提案するときは、このような提案シートを用いて事業案をまとめましょう
 (**市民から提案する** →P15へ)

様式案

市民用・協働事業提案シート

提出日 年 月 日

1 提案内容

①事業名	
②事業の目的と効果 なぜこの事業を行うのか、どのような市民生活の向上が図られるか。	オモテ
③事業計画の概要 事業期間、スケジュール、人員配置など。	
④役割分担 団体の役割 行政に期待する役割	(団体の役割) (行政に期待する役割)

2 提案団体の概要

①団体名	(フリガナ)
②代表者	
③所在地 ・ 連絡先	〒 - 電話 () -
④活動内容 ・ 活動実績	

3 収支予定書

①収入

項目	予算額 (円)	具体的な内容
収入合計		

②支出

項目	予算額 (円)	具体的な内容
		ウラ
支出合計		

- 行政から提案するときは、このような提案シートを用いて事業案をまとめましょう
 (行政から提案する →P17へ)

様式案

行政用・協働事業提案シート

提出日 年 月 日

1 提案内容

①事業名	
②事業の目的と効果 なぜこの事業を行うのか、どのような市民生活の向上が図られるか。	オモテ
③事業計画の概要 事業期間、スケジュール、人員配置など。	
④役割分担 行政の役割 団体に期待する役割	(行政の役割)
	(団体に期待する役割)

2 提案部署の概要

①部署名	部
②担当者	
③連絡先	電話 (0428) 22-1111

3 収支予定書

①収入

項目	予算額 (円)	具体的な内容
収入合計		

②支出

項目	予算額 (円)	具体的な内容
支出合計		

ウラ

第3章 資料

- 行政から提案のあった企画に対し、事業案を応募するときはこのような応募シートを用いてまとめましょう。(**行政から提案する** →P18へ)

様式案

市民用・協働事業応募シート

提出日 年 月

1 提案内容

①事業名	
②事業計画の内容 行政用・協働事業提案シート「③事業計画の概要」を受けての計画詳細	オモテ
③役割分担 団体の役割 行政に期待する役割	<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">(団体の役割)</div> <div style="text-align: center;">(行政に期待する役割)</div>

2 提案団体の概要

①団体名	(フリガナ)	
②所在地	〒 -	
ホームページ	HPアドレス	
③連絡担当者及び連絡先	担当者	
	電話() -	
	Eメールアドレス	
④設立年月	年 月 (法人取得年月 月 日)	
⑤会員の状況	人	
⑥活動内容・活動実績	ウラ	
⑦前年度の決算状況		
収入		
項目	予算額(円)	具体的な内容
収入合計		
支出		
項目	予算額(円)	具体的な内容
支出合計		

3-2 評価シート

- ・事業を実施した後は、評価シートを用いて事業の振り返りをします。
 (市民と行政共通 →P21へ)

協働事業評価シート	
事業名称	報告者 団体名 報告者
1 事業の内容	
(1) 実施期間および場所	
(2) 事業の目的	
(3) 事業の成果目標 (数値目標等)	
(4) 実施内容	
(5) 事業経費 (支出した額または予算額)	
2 協働の内容	
(1) 協働の形態 1 政策立案・事業企画等 2 事業共催 3 事業協	
(2) 協働相手の団体名および団体からの参加人数	
(3) 協働の理由・きっかけ	
(4) 協働が開始された段階は次のうちどれですか。 1 計画段階 2 実施段階 3 そ	
(5) 役割分担	

協働事業評価シート		
A はい B どちらかといえば「はい」 C どちらかといえば「いいえ」 D いいえ		
計 画 段 階	(1) 事前の話し合いを十分に行い、役割・責任分担は明確になっていた	A B C D
	(2) 事業に最もふさわしい協働形態が選択された	A B C D
	(3) 協働の役割分担は適切だった	A B C D
	(4) 協働相手は適切だった	A B C D
実 施 段 階	(5) 対等な立場での協力関係を築けた	A B C D
	(6) 協働相手の自主性・自立性は尊重された	A B C D
	(7) 事業実施は円滑になされた	A B C D
事 業 終 了 後	(8) 設定した目標が達成された	A B C D
	(9) 協働で行うことにより効果がある事業だった	A B C D
	(10) 今後の課題と改善策をお互いに話し合った	A B C D
(11) 協働による効果		
(12) 今後の課題、改善事項など (できるだけ具体的に記入してください)		

3-3 協働事業集

- ・市内で行われている大きなイベントも協働で行われています。
ここでは、協働の形態（P 7参照）と合わせて紹介します。

■ 青梅マラソン大会

みなさんご存じの青梅マラソンは、青梅市、社団法人東京陸上競技協会、青梅市陸上競技協会、報知新聞社が四者主催で実施しています。その他に約2,000人もボランティアが協力しています。

協働の形態 事業共催、事業協力

■ 吹上しょうぶ公園ガイドボランティア

200品種以上のしょうぶ等が見事な吹上しょうぶ公園で行われている園内のガイドボランティアは、ボランティアさんと商工観光課が協働で実施しています。
（ガイドボランティアはしょうぶ公園有料期間中のみ）

協働の形態 事業協力

■ 青梅市市民のくらし展

青梅産業観光まつりの会場で行われているくらし展は、環境・食・地産地消などくらしについての展示等をコープトウキョウ、パルシステム、食を考える会、青梅総合高校、生活安全課が協働で実施しています。

協働の形態 事業共催

■ 子どもふれあいフェスタ

青梅産業観光まつりと同時期に永山ふれあいセンターで行われている子どもふれあいフェスタは、親も子ども楽しめるお祭りです。子育て関連のNPO法人を中心とした実行委員会と子ども家庭支援課・社会教育課・市民活動推進課が協働で実施しています。

協働の形態 事業協力、その他（後援）

■ 釜の淵新緑祭～生涯学習フェスティバル～

釜の淵でさまざまな団体やサークルが日頃の学習成果を発表する釜の淵新緑祭は、青梅市生涯学習推進市民会議、参加団体、学生ボランティア、社会教育課が協働で実施しています。

協働の形態 政策立案・事業企画等

3-4 青梅市協働事業市民推進委員会

市民活動団体等と市の協働事業による「協働のまちづくり」を進めるため、市民側の立場から、協働事業の実施結果に対する評価や今後の協働のあり方などについて、意見を求めるため、青梅市協働事業市民推進委員会があります。



みんなでワッショイまちづくり

おうめ協働ナビ

青梅市協働実践マニュアル（市民・行政編）

発行 青梅市（平成23年3月）
 編集 青梅市協働事業市民推進委員会
 改正 （平成31年3月）

〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1

電話 0428-22-1111

HP <http://www.city.ome.tokyo.jp>